



学都たつのの輝きと歴史・文化が薫るまちを目指して

～教科書を展示しています～

小中学校の児童生徒が使用する教科書は、法律により、無償で給与されています。教科書を見てみると、課題を解決するために、さまざまな仕掛けがあり、思考力、判断力、表現力を育む工夫がされています。学校の先生は、教科書を中心に授業を組み立て、確かな学力を身に付けさせる工夫をしています。

たつの市教育委員会では、市内小中学校の児童生徒が使っている教科書のほか、教科書検定に合格した教科書を常設展示しています。

ぜひ、教科書を手にとっていただき、子どもたちの学習内容を考える機会にしてください。

と き 常設展示 9時～17時(土日祝除く)

と ころ 市役所 新館3階

そ の 他 6月13日(月)から6月30日(木)までを法定展示会としています。ご覧になられた方は、アンケートにご協力をお願いします。

※ご覧になれる方は、学校教育課までお声がけください。



▶学校教育課 (☎64・3179)

おいしい元気がたつの「食の備え」をしましょう を目指しての～家庭でのローリングストック～

食育推進連絡会議公募委員
長谷川 純子さん

地球温暖化等により、自然災害が起こりやすくなっている近年、ひとたび災害が起こると、電気・ガスなどのライフラインが数日に渡り寸断されます。「食」は生命や健康を守る大切なものです。今回、食育活動の一環として、「ローリングストック(備蓄の回転)法」について、危機管理課で話をお聞きしました。

保存食だと利用する機会がないまま、防災バッグの中で賞味期限切れになることもあります。保存食を日常生活の中で消費して消費した分だけ買い足していく「ローリングストック法」は、フードロスを防ぐことができます。さらに、日常で利用している食品を少し多めに備蓄することで、食べ慣れた食品を災害時にも食べられるので、できるだけ日常に近い食生活を送ることになり、ストレスの軽減に繋がります。

また、ライフラインが止まってしまった場合、カセットコンロがあると、お湯を沸かしたり湯せんをすることで温かい食事をとることができるので、食品や保存食と一緒に備えておくことが望ましいということでした。それに加えて、災害時は食生活において野菜が不足するので、じゃがいもや人参など日持ちする野菜をストックしておくことも勧められています。

大規模な災害が起こると、流通が機能せず、食料の入手が困難になるので、普段から食べ慣れた食品や保存食を備蓄しておくことが大切です。1週間分の備蓄が望ましいと言われていますが、まずは家族分1日3食で3日分の食品や保存食を備蓄し、月に一度1食分を食べて買い足す取り組みをしてみませんか？

家庭での食品や保存食の備蓄について質問などがあれば、危機管理課(☎64・3219)までお問い合わせください。



備蓄の目安 = 家族の人数 × 最低3日分

できれば1週間分を備えましょう。

農業委員会だより 農業者年金に加入しませんか？

農業者年金は国が支える農業者のための公的な積立年金です。60歳未満で国民年金の保険料を支払っている農業者の方なら、どなたでも加入できます。(国民年金の任意加入者である60歳以上65歳未満の農業者も加入できます)

- ◎保険料の額は自由に決められます
保険料は月額2万円から1,000円単位で自由に決められ、農業経営状況による見直し、脱退も自由です。(35歳未満の方は月額10,000円から加入できます。)
- ◎受給開始時期が選択できます
60歳から75歳までの間に、いつでも受給を開始できます。万が一、若くして亡くなられた場合も積立金額に応じ、死亡一時金として遺族が受け取れます。
- ◎公的年金ならではの税制上の優遇措置
保険料は全額、所得税の控除対象となります。将来受け取る年金には、公的年金等控除が適用されます。

老後の備えは、**農業者年金**で安心



農業者年金受給中の皆さん、現況届の提出をお忘れなく！

農業者年金基金から現況届の用紙は届きましたか？
農業者年金を引き続き受給するためには、毎年1回、現況届を提出しなければなりません。必要事項を記入し、6月末日までに農業委員会事務局又は各総合支所地域振興課へ提出してください。

農業者年金に関するお問い合わせは、農業委員会事務局(☎64・3185)又はJA兵庫西各支店へ



消防最前線

195

西はりま消防組合たつの消防署(☎63・3511)

暑くなってきたら… 熱中症に気をつけましょう

もうすぐ「猛暑」や「酷暑」と言われるような、暑い夏がやってきます。昨年は6月から9月の間に、全国で約4万6千人の方が熱中症で救急搬送されました。熱中症は、多くが公園や路上などで起きていると思いきや、実は約4割が「住居」で発生しています。

熱中症の予防

- ・エアコン、扇風機などを使用し、室温を調整しましょう。エアコンは、暑いと感じたら設定温度を下げることとして使用しましょう。
- ・日々の生活の中で水分は失われていきます。のどが渇く前に、こまめに水分を補給しましょう。
- ・屋外での活動は、暑い日や暑い時間帯を避け、無理のない範囲で行いましょう。体調が悪いと感じたときは、無理をしないようにしましょう。

暑くなくても 水分補給を！ 暑さを避けよう



熱中症が疑われる人を見かけたら

自力で水が飲めない、意識がない場合は、すぐに救急車を呼びましょう。呼びかけへの反応が悪い場合は、無理に水を飲まさないようにしましょう。

10年たったら交換を！ 住宅用火災警報器の話です。

皆さんの自宅に住宅火災警報器はついていますか？住宅火災警報器は、24時間365日火事を見張ってくれる強い味方です。未設置の場合は設置しましょう。

住宅火災警報器の点検をしていますか？ボタンを押す、又はひもを引いて定期的に作動確認をしましょう。住宅火災警報器は古くなると部品の寿命や電池切れなどで、正常に作動しなくなる場合があります。設置から10年

本体を交換する場合は、「連動式」がおすすめ！

住宅火災警報器の中には、1カ所が火災を感じし作動すると他の住宅火災警報器が作動する「連動式」があり、早期発見に効果的です。管内でも、2階で寝ていた住人が、1階の火災に気付いた事例があります。本体を交換する際には、ぜひ検討してみてください。



「連動式」の例

2022年1月1日からの
市内の災害状況
(5月20日現在)

火災 7件 救急 1,369件 救助 29件
西はりま消防組合ホームページのご案内
<https://fd-nishiharima.jp/>

災害情報案内(自動音声案内)
☎0791・76・7150
休日・夜間病院案内(自動音声案内)
☎0791・76・7160